

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組 織

- (1) 名 称 東京都立竹台高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(総務主任兼務)＝事務局長、総務部員2名 計 3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務主任、進路主任、総務主任、第1学年主任、第3学年主任)、主任教諭(生活指導主任、第2学年主任)
計 10名
- (4) 協議委員の構成
近隣有識者、地域自治会長、近隣中学校長、地域消防署長、学識経験者、接骨院院長、同窓会会長、PTA会長
計 8名

2 令和5年度 学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
- 第1回 令和5年6月28日(水) 内部委員10名、協議委員8名
協議委員の委嘱、委員紹介、評価委員の委嘱
昨年度の度学校経営報告及び学校運営連絡協議会の課題
本年度の学校経営計画と経営企画室及び各分掌の課題等説明、協議委員アンケート
- 第2回 令和5年12月1日(水) 内部委員10名、協議委員8名
本校の現状と本年度の取組について
学校評価(令和3年度学校評価アンケート)について
意見交換及び協議
- 第3回 令和6年3月 書面開催 内部委員10名、協議委員8名
今年度の取り組みについて
学校評価の集計結果及びまとめについて
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
学校運営連絡協議会委員が全員評価委員会委員であるため、上記(1)に同じ

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
- | | | | | |
|------|-------|---------|---------|----------|
| ・12月 | 全校生徒 | 対象：676人 | 回収：676人 | 回収率：100% |
| ・12月 | 保護者全員 | 対象：676人 | 回収：168人 | 回収率：25% |
| ・1月 | 地域・住民 | 対象：20人 | 回収：13人 | 回収率：65% |
| ・3月 | 教職員 | 対象：47人 | 回収：69人 | 回収率：100% |
- (3) 主な評価項目
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備及び、「ライフ・ワーク・バランスの推進」に関する評価項目を、学校実態に合わせて適宜設定する。
- (4) 評価結果の概要及び分析・考察
- ・オンライン授業については、教員・生徒ともに慣れてきてよりよい学習ができるようになってきている。そのためか、学習面についての評価は、肯定的な評価が特に高いわけではないが、昨年度と比べても変化が少なく、一定の評価を得られたのではないかと考える。学びをとめないという視点で今後の教育活動も続けていく。
 - ・部活動については、徐々に活動の場面が増えたこともあり、昨年度よりも肯定的な評価が高くなった。
 - ・「体罰や暴言に頼らない指導」については、生徒・保護者ともに高い肯定的評価となっており、学校がよりよい流れに向かっていく証ではないかと感じる。
 - ・今年度は、全体的に教職員の肯定的評価が高く、学校の目標に対応した教育活動を実施していることがわかる。特に授業面において、各教員が授業内容等を工夫し、確実な学力の定着につなげている事がわかる。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域の活動がほぼ無くなってしまったことが「生徒

は地域の活動に協力的である。」の評価の大きな減少につながったと考えられる。来年度は、感染症拡大防止に努めながらも可能な活動から復活させることを目指したい。

- ・生徒・保護者・教員には、情報化を進め forms により効率よく実施できた。地域住民には町会との連携で実施できたが、配布枚数が前年度と異なるため、単純比較はできない。対象者に関わらず、「わからない」と回答する率が前年度に比して増加した。実施前の説明を丁寧にする必要がある。
- ・学校ホームページや特に Classi といった紙以外の活用がかなり定着した。今後もさらに学校情報を家庭に伝える体制を整える。地域に対しては、町会の事務所に学校通信をポスティングする態勢を作るなど、工夫していきたい。
- ・登校機会が増えたことで、人間関係構築に困難さを感じている生徒が存在する可能性がある。教職員が生徒の様子をきめ細かく見ていく必要がある

(5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

① 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

本校の教育課題における改善に向けた取組への理解が得られ、その成果が期待されている。期待されることにより、教職員の課題解決に向けた意欲と自信の向上につながっている。また、新校舎完成後の学習環境への期待が高く、竹台高校として確かなそして期待される学校経営を進めていく。

② 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 生徒の人格形成、社会に巣立つために必要な能力育成のために学習指導、特別活動指導、並びに学校行事の精選と発展が必要
- 学習、学校生活、健康状況等を学校が発信していることを周知強化し、家庭との連携・協力体制を構築
- 生徒一人一人の希望進路実現に応じた進路指導、保護者への的確な進路情報の発信と希望進路実現に向けた具体的な連携と協力
- 生徒に自己の将来をしっかりと見つめさせ、生徒が実感できる学力の向上と充実した学校生活の確立
- 長期休業日中、土曜講習等の意義とその必要性と成果の提示

4 学校運営連絡協議会および学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- 学校経営計画の具現化のための組織的な学校運営
- キャリア教育の充実と推進
- カウンセリングマインドを取り入れ、個を大切にする指導の向上と体制
- 学校ホームページ、PTAメールや掲示板等を活用した保護者、中学生、地域への情報発信
- 教育環境整備及び防災拠点としての観点から、新校舎の環境に寄せられる期待への対応
- 宿泊防災訓練や防災訓練を通して、防災教育の充実と地域連携を強める取組の推進

(2) 学習指導

- 授業規律を徹底し、生徒が主体的に学べる授業、学習指導方法の確立
- 質が高く、意欲的に学習に臨むことのできる授業の構築
- 補習講習を効果的に計画・実施することと合わせ、保護者にも周知する工夫
- 一人1台端末、ICT活用等による生徒のモチベーション向上を図る授業の工夫
- 自習室利用の促進と効果的な課題設定など自宅学習習慣の定着に向けた指導強化

(3) 生活指導

- 時間を守り授業規律を維持できる自律した態度の育成
- 生活指導部及び学年との連携による、効果的で相互理解のある頭髪・服装指導、遅刻指導の実施
- 部活動加入率の向上、成果をあげている部活動への支援による部活動の活性化
- 荒川区の行事参加、町会等の地域行事参加等を通じた地域との連携強化

(4) 進路指導

- 1年時からの進路指導の充実を図り、早い段階からの進路意識啓発の継続
- 担任による希望進路実現のための面接、並びに希望進路実現のための進路説明会を実施
- 外部機関との連携によるキャリア教育の検討と改善に向けた不断の見直し
- 生徒・保護者の希望進路を適える校内外の組織・機関等を活用した進路指導体制の確立
- 総合的な探究の時間に係る学年間の引継ぎ強化や学校としての態勢整理のための組織化

(5) 健康・安全

- 美化活動を指導重点項目とし、清潔で快適な学習環境の整備

- S Cや都立版エリアネットワーク、Y S W等を活用した生徒の心のケアと心の育成を図る
教育相談機能の強化と教員研修の実施
- 防災教育を継続して推進し、自助・共助の精神の育成と地域連携の構築

5 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
4	2	0	0	0	0	2

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延 0人 企画調整会議 0回 延 0人